

DERWENT-ACC-NO: 1999-350364

DERWENT-WEEK: 199930

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Liquid filled bracelet used as fashion accessory - has bracelet body filled with predetermined liquid and sealed by stopper plug

PATENT-ASSIGNEE: DAISHIN FRAME KK[DAISN]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0292799 (October 24, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 11127920 A	May 18, 1999	N/A
005 A44C 005/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 11127920A	N/A	1997JP-0292799
October 24, 1997		

INT-CL (IPC): A44C005/00, A61H039/04

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11127920A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The bracelet tube (1a) is filled with a predetermined liquid (4) and sealed by a stopper plug (2).

USE - In fashion accessories.

ADVANTAGE - The shining is retained thus giving good external appearance and attraction. The improvement in health condition is achieved by pressure stimulating acupuncture points in wrist. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the isometric view and sectional view of the bracelet. (1a)

Bracelet tube; (2) Stopper plug; (4) Liquid.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: LIQUID FILLED BRACELET FASHION ACCESSORY BRACELET BODY  
FILLED

PREDETERMINED LIQUID SEAL STOPPER PLUG

DERWENT-CLASS: P23 P33

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-261998

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-127920

(43)公開日 平成11年(1999)5月18日

(51)Int.Cl.<sup>o</sup>

A 44 C 5/00  
A 61 H 39/04

識別記号

501

F I

A 44 C 5/00  
A 61 H 39/04

501 Z  
M

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全5頁)

(21)出願番号

特願平9-292799

(22)出願日

平成9年(1997)10月24日

(71)出願人 000108959

ダイシンフレーム株式会社

大阪府大阪市西区立売堀1丁目7番18号

(72)発明者 桜井 康雄

大阪市西区立売堀1丁目7番18号 ダイシンフレーム株式会社内

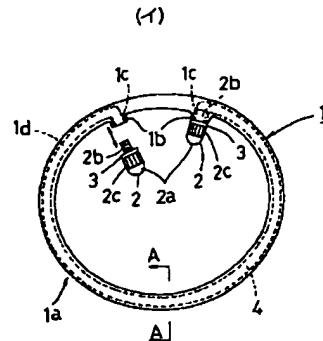
(74)代理人 弁理士 藤本 昇 (外2名)

(54)【発明の名称】 腕輪

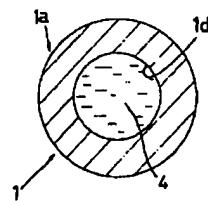
(57)【要約】

【課題】 本発明は、ファッショニング具としての腕輪に付加価値を持たせることにより、従来にない全く新しい腕輪を提供するものである。

【解決手段】 所定の液体4を腕輪本体1aの外部から確認可能に該腕輪本体1a内に密封してなることを特徴とする。



(2)



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定の液体(4)を腕輪本体(1a)の外部から確認可能に該腕輪本体(1a)内に密封してなることを特徴とする腕輪。

【請求項2】 前記腕輪本体(1a)には、液体(4)を腕輪本体(1a)内に密封するための栓体(2)が装着されてなり、しかも該栓体(2)又は腕輪本体(1a)の少なくとも何れか一方には、腕輪を腕へ装着した際に、該腕と当接すべく腕側に突出又は膨出した当接部が設けられてなることから、栓体2を介して腕輪本体1a内に充填する液体4を容易に入れ替えることが可能となり、よって特に液体4の色合い、色調等をその日の気分や服装等に合わせて簡単に変更することが出来るだけでなく、腕輪を腕に装着するだけで、特に手首近傍のツボ等を当接部を介して押圧刺激することで健康増進等をはかることも出来る利点がある。

【請求項3】 前記腕輪本体(1a)が、他の腕輪体(6)に合体可能な構成にしてなることを特徴とする請求項1又は2記載の腕輪。

【請求項4】 前記腕輪本体(1a)と他の腕輪体(6)との合体が、合体用アタッチメント(7)を介して行われる構成にしてなることを特徴とする請求項3記載の腕輪。

【請求項5】 前記腕輪本体(1a)又は所定の液体(4)の少なくとも何れか一方に生体反応体又は生体反応液の何れかが含有されてなることを特徴とする請求項1乃至4の何れかに記載の腕輪。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ファッショ装身具として使用される腕輪に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、例えば、ファッショ装身具として各種の貴金属材料、硝子又は樹脂材等を腕に装着可能に加工した腕輪が存在し、老若男女を問わず自己を他人にアピールするための小物の一つとして用いられている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 而して、本発明は、上記の如くファッショ装身具としての腕輪に付加価値を持たせることにより、従来にない全く新しい腕輪を提供することを課題とするものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 即ち、本発明は全く新しい腕輪を開発し、以下のような技術的手段を講じたものである。

【0005】 第一の技術的手段として本発明は、所定の液体4を腕輪本体1aの外部から確認可能に該腕輪本体1a内に密封してなることから、液体4の流動状態や色合い、色調等を外部から視認したり、又、例えば液体4が輝きを有したり、発光する場合には、その輝きや光を介してのイリュージョンを外部から視認することが出来、よって周囲の興味を引く斬新なファッショ装身具としての腕輪を提供することが出来る利点を有する。

【0006】 更に、第二の技術的手段として本発明は、腕輪本体1aに、液体4を腕輪本体1a内に密封するための栓体2が装着されてなり、しかも該栓体2又は腕輪本体

2

1aの少なくとも何れか一方には腕輪を腕へ装着した際に、該腕と当接すべく腕側に突出又は膨出した当接部が設けられてなることから、栓体2を介して腕輪本体1a内に充填する液体4を容易に入れ替えることが可能となり、よって特に液体4の色合い、色調等をその日の気分や服装等に合わせて簡単に変更することが出来るだけでなく、腕輪を腕に装着するだけで、特に手首近傍のツボ等を当接部を介して押圧刺激することで健康増進等をはかることも出来る利点がある。

10 【0007】 更に、第三の技術的手段として本発明は、腕輪本体1aが、他の腕輪体6に合体可能な構成にしてなることから、各種の貴金属材料、硝子又は樹脂材等から形成された腕輪体6に腕輪本体1aを装着することで無機質的な腕輪体6と液体4の流动等を介しての有機質的な腕輪とが一体的となって今までに無かった全く新しい腕輪を提供することが出来る利点を有する。

【0008】 又、第四の技術的手段として本発明は、腕輪本体1aと他の腕輪体6との合体が、合体用アタッチメント7を介して行われる構成にしてなることから、合体用アタッチメント7を各種の腕輪体6に対応して準備することにより、腕輪体6の種類等に全く限定されることなく、腕輪を腕輪体6に装着することが出来、極めて汎用性のあるファッショ装身具としての腕輪を提供することが出来る利点を有する。

【0009】 更に、第五の技術的手段として本発明は、腕輪本体1a又は所定の液体4の少なくとも何れか一方に生体反応体又は生体反応液の何れかが含有されてなることから、例えば、生体反応液に僅かな温度変化に対して色の濃淡又は色そのものが微妙に変化する液体4や一定の温度以上になると色が変化したり変色したりする液体4を用いた場合のみならず腕輪本体1aに前記同様に変化する樹脂材料等を用いた場合には、腕輪を腕に装着するだけで室内外の微妙な温度変化に応じて腕輪本体1a又は所定の液体4の少なくとも何れか一方の色を変化させることが可能となり、周囲の興味を引く今までに存在しない新しいファッショ装身具としての腕輪を提供することが出来る利点を有する。

30 【0010】

【発明の実施の形態】

40 <第一実施形態> 以下、本発明の一実施形態を図面に従って説明する。図1に於いて、1は無色透明で、且つ可撓性を有した樹脂材を介して略リング状に形成された腕輪を示すと共に1aは腕輪本体を示す。

【0011】 尚、上記腕輪本体1a内にはトンネル状の中空部1dが設けられ、しかも該中空部1dの夫々の両端に位置する腕輪本体1aの内周面部には、前記中空部1dに所定色の液体4を充填して密封するための栓体2の雄螺子2bが螺入可能な雌螺子1cが形成された栓体着脱部1bが設けられてなる。

50 【0012】 尚、上記栓体2の先端側には、前記腕輪1

を腕へ装着した際に、該腕と当接すべく腕側に突出した半球状の当接部2aが設けられ、しかも該栓体2のボディ外周には滑り止めのローレット2cが設けられると共に、前記雄螺子2bには防水リングパッキン3が外嵌されてなる。

【0013】本発明の一実施形態における腕輪は上記構成からなるために、液体4の流動状態や色合い、色調等を外部から視認することが出来るだけでなく、例えば、密封される液体4が輝きを有したり、又発光する場合には、その輝きや光を介してのイリュージョンを外部から視認することが出来、よって周囲の興味を引く斬新なファッショナ装身具としての腕輪を提供することが出来る利点がある。

【0014】更に、上記腕輪本体1aには、液体4を腕輪本体1a内に密封するための栓体2が装着され、しかも該栓体2には腕輪1を腕へ装着した際に、該腕と当接すべく腕側に突出した当接部2aが設けられてなるために、栓体2を介して腕輪本体1a内に充填する液体4を容易に入れ替えることが可能となり、よって特に液体4の色合い、色調等をその日の気分や服装等に合わせて簡単に変更することが出来ることから、全く新しいファッショナ装身具としての腕輪を提供することが出来る利点がある。

【0015】更に、上記栓体2の位置を予め手首近傍のツボ等の間隔に設定することにより、腕輪1を腕に装着するだけで、当接部2a及び腕輪本体1aの可撓性を介してツボ等を押圧刺激して健康増進等をはかることも出来る利点がある。

【0016】<第二実施形態>上記実施形態において、略リング状に形成された腕輪本体1aの内周面部には、液体4を腕輪本体1a内に密封するための栓体2が装着されてなるが、例えば、図2(イ)、(ロ)に示す様に、腕輪本体1aがトンネル状の中空部1dを有すると共に略C字状に形成され、しかもその両端に栓体2が前記第一実施形態の如く螺着されていてもよく、又この場合に当接部2aが栓体2の突出した周側面であってもよい。

【0017】尚、上記の如く略C字状に形成された腕輪本体1aは可撓性を有してなることから、腕への装着脱時に前記栓体2が装着された腕輪本体1aの両端を離間(矢印B)させることが可能となり、よって極めて簡単に、しかも瞬時に腕輪1を着脱することが出来る利点もある。

【0018】更に、上記第二実施形態にて説明した栓体2には、前記第一実施形態において説明した栓体2の如くボディ外周に滑り止めのローレット2cは設けられていないが、要は栓体2を摘んで腕輪本体1aへ容易に装着脱することが出来ればローレット2cの有無も決して限定されるものではないが、ローレット2cが設けられている場合には、摘んで螺着脱する際の栓体2の滑りを防止して良好な作業を行い得ることが出来る利点があるが、例え

ば、同図(ハ)に示す様に、栓体2内に中空部2dを設け、しかも該中空部2dに前記当接部2aから人体の体温又は心拍数等を計測可能な計測装置5を収納すると共に、腕輪1を装着した人の心拍数等を経時計測し、その後専用の解析装置(図示せず)を介して前記計測装置5より一日又は所定時間内の心拍数等の変化を記録したり明示してもよく、この場合には極めて携帯性に優れた医療用計測機として用いることが出来る利点もある。

【0019】尚、上記の如く医療用計測機として腕輪1を用いた場合において、計測装置5が心拍数等の異常を計測した際に、該計測装置5から微電流又は微電圧を腕輪本体1a内に密封された特殊な反応液体4に付することで液体4の色を変化させて腕輪1の使用者に体の異常を告知してもよく、この場合には、使用者自身のみならず、例えば、看護婦や医者又は色が変化した場合の内容を知る家族や第三者であっても容易に、しかも瞬時に適切な処置を行い得るという利点がある。

【0020】<第三実施形態>更に、上記実施形態において、腕輪1は直接使用者の腕に装着して使用される場合を説明したが、例えば、図3に示す様に、腕輪1を他のファッショナ装身具等の腕輪体6に専用の合体用アタッチメント7を介して合体可能として使用してもよく、この場合には、各種の貴金属材料、硝子又は樹脂材等から形成された腕輪体6に腕輪本体1aを装着することで無機質的な腕輪体6と液体4の流動等を介しての有機質的な腕輪とが一体的となって今までに無かった全く新しい腕輪を提供することが出来る利点がある。

【0021】更に、上記の如く腕輪本体1aと他の腕輪体6との合体は、断面視略C字状で、且つ対峙する両端間に位置する隙間と対面する閉塞面側に前記腕輪本体1aが嵌入可能な凹部が形成され、しかも前記隙間を離間可能な可撓性を有した材質により形成された合体用アタッチメント7を介して行われるが、必ずしも合体用アタッチメント7の形状が断面視略C字状である必要もなく、要は腕輪本体1aを他の腕輪体6に係止状態で合体させるべく繰り返し使用することが出来れば合体用アタッチメント7の形状や材質も一切限定されない。

【0022】又、腕輪本体1aと他の腕輪体6との合体が合体用アタッチメント7を介して行われる場合には、合体用アタッチメント7を各種の腕輪体6に対応して準備することにより、腕輪体6の種類等に全く限定されることなく、腕輪を腕輪体6に装着することが出来、極めて汎用性のあるファッショナ装身具としての腕輪を提供することが出来る利点があるが、必ずしも腕輪1と他の腕輪体6との合体に、合体用アタッチメント7を用いる必要もなく、例えば腕輪本体1aに可撓性を有した係止片(図示せず)又は一对の挟持片(図示せず)等の繰り返し使用可能な着脱手段が予め一体的に具備されていてもよいのは言うまでもない。

50 【0023】<第四実施形態>更に、上記実施形態にお

いて、腕輪本体1aには、所定色の液体4を腕輪本体1a内に密封するための栓体2が装着されてなり、しかも該栓体2には腕輪1を腕へ装着した際に、該腕と当接すべく腕側に突出した当接部2aが設けられてなるが、必ずしも当接部が栓体2に設けられる必要はなく、例えば、図4に示す様に、略C字状に形成された腕輪本体1aの一端側に栓体2を設け、且つ該腕輪本体1aの内周面部に所定の間隔で膨出部8を設けると共に、その先端を当接部8aとしてもよく、この場合であっても栓体2を介して腕輪本体1a内に充填する液体4を容易に入れ替えることが可能となり、よって特に液体4の色合い、色調等をその日の気分や服装等に合わせて簡単に変更することが出来るだけでなく、腕輪を腕に装着するだけで、特に手首近傍のツボ等を当接部8aを介して押圧刺激することで健康増進等をはかることが出来る利点がある。

【0024】<第五実施形態>又、上記実施形態において、栓体2又は腕輪本体1aの少なくとも何れか一方には腕輪を腕へ装着した際に、該腕と当接すべく腕側に突出又は膨出した当接部が設けられてなるが、図5に示す様に、腕輪本体1aに突出又は膨出した当接部がなくともよく、例えば、腕輪本体1aの内周面8bの全てが腕と当接する構成であってもよい。

【0025】又、上記の如く、腕輪本体1aの内周面8bの全てが腕と当接する構成のみならず上記実施形態で説明した様に、腕輪本体1a又は栓体2の少なくとも何れか一方に腕と当接すべく腕側に突出又は膨出した当接部が設けられた構成の何れを問わず、例えば、腕輪本体1a又は所定の液体4の少なくとも何れか一方に生体反応体又は生体反応液の何れかが含有されていてもよく、この場合において、例えば、生体反応液に僅かな温度変化に対して色の濃淡又は色そのものが微妙に変化する液体4や一定の温度以上になると色が変化したり変色したりする液体4を用いた場合のみならず腕輪本体1aに前記同様に変化する樹脂材料等を用いた場合には、腕輪を腕に装着するだけで室内外の微妙な温度変化に応じて腕輪本体1a又は所定の液体4の少なくとも何れか一方の色を変化させることが可能となり、周囲の興味を引く今までに存在しない新しいファッショナブル装身具としての腕輪を提供することが出来る利点がある。

【0026】尚、上記実施形態において、腕輪本体は、無色透明で、且つ可撓性を有した樹脂材を介して略リング状に形成されたり、又同様の材料で略C字状に形成されてなるが、要は所定の液体を腕輪本体の外部から確認可能に該腕輪本体内に密封することで、液体の流動状態や色合い、色調等を外部から視認したり、又、例えば液体が輝きを有したり、発光する場合には、その輝きや光を介してのイリュージョンを外部から視認することが出来れば、腕輪本体が有色透明であってもよく、更に、前記液体が腕輪本体の長手方向に沿った外周面に幾筋かの模様を形成すべく複数本分割されて密封（図示せず）さ

れてもよく、又腕輪本体の長手方向と交差する方向に該腕輪本体を所定の長さで複数に分割して密封（図示せず）されていてもよいのは言うまでもない。

【0027】更に、上記実施形態において、腕輪は可撓性を有した樹脂材からなるが、要は腕に腕輪を容易に装着脱自在であれば軟質、硬質の何れをも問わず、又樹脂材の種類もポリエチレン、ポリプロピレン等一切限定されないが、常温で可撓性を有するものであれば装着脱時の容易性のみならず使用感も良好なものとなる利点がある。

【0028】更に、上記実施形態において、腕輪本体は、略リング状に形成されたり、又略C字状に形成されてなるが、腕輪本体の具体的な全体形状や断面形状のみならず栓体の配置や数及び該栓体の有無も決して限定されないのは言うまでもなく、要は所定の液体を腕輪本体の外部から確認可能に該腕輪本体内に密封していればよい。

【0029】更に、上記実施形態において、腕輪本体又は所定の液体の少なくとも何れか一方に生体反応体又は生体反応液の何れかが含有されることにより、僅かな温度変化に対して色の濃淡又は色そのものを微妙に変化させたり、一定の温度以上で色を変化させたり変色したりすることが可能となり、よって腕輪を腕に装着するだけで室内外の微妙な温度変化に応じて色を変化させることで、周囲の興味を引く今までに存在しない全く新しいファッショナブル装身具としての腕輪を提供することが出来る利点を有するが、生体反応体又は生体反応液の具体的な種類や成分、又人体に対しての反応の状態や変化等も人体に悪影響を及ぼさないものであれば一切限定されないのは言うまでもない。

#### 【0030】

【発明の効果】叙上の様に、本発明の腕輪は、所定の液体を腕輪本体の外部から確認可能に該腕輪本体内に密封してなることから、液体の流動状態や色合い、色調等を外部から視認したり、又、例えば液体が輝きを有したり、発光する場合には、その輝きや光を介してのイリュージョンを外部から視認することが出来、よって従来に全く存在しない周囲の興味を引く斬新なファッショナブル装身具としての腕輪を提供することが出来るという格別な効果を有する。

【0031】更に、腕輪本体に設けられた栓体又は腕輪本体の少なくとも何れか一方、腕と当接すべく腕側に突出又は膨出した当接部を設けた場合には、腕輪本体内に充填する液体を容易に入れ替えることが可能となり、よって特に液体の色合い、色調等をその日の気分や服装等に合わせて簡単に変更することが出来るだけでなく、腕輪を腕に装着するだけで、特に手首近傍のツボ等を当接部を介して押圧刺激することで健康増進等をはかることも出来、更に当接部を心拍数等の計測部として利用することによってファッショナブル装身具としての腕輪を携帯性に優

れた医療用計測機としても用いることが出来る効果をも  
有するに至った。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に於ける腕輪の一実施形態を示し、

(イ)は斜視図、(ロ)は(イ)のA-A線断面図。

【図2】他の実施形態における腕輪を示し、(イ)は斜  
視図、(ロ)及び(ハ)は栓体の説明図。

【図3】他の実施形態における腕輪を示し、(イ)は斜  
視図、(ロ)は(イ)のC-C線断面図。

【図4】他の実施形態における腕輪を示す正面図。

【図5】他の実施形態における腕輪を示す正面図。

【符号の説明】

1…腕輪

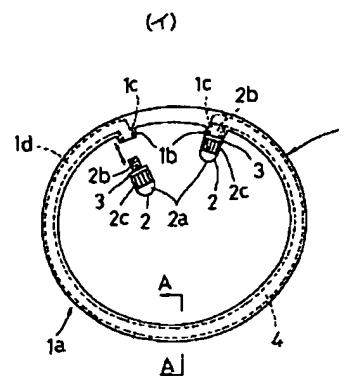
1a…腕輪本体

2…栓体

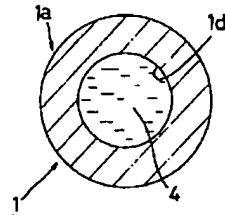
3…防水リングパッキン

4…液体

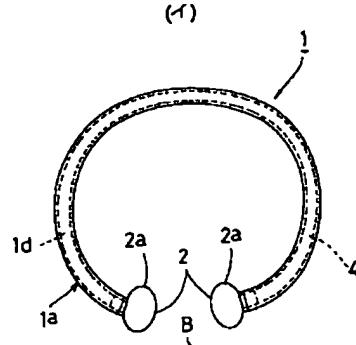
【図1】



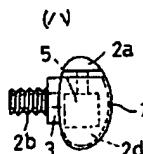
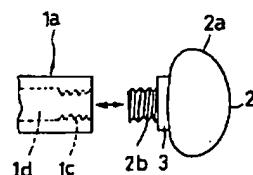
(ロ)



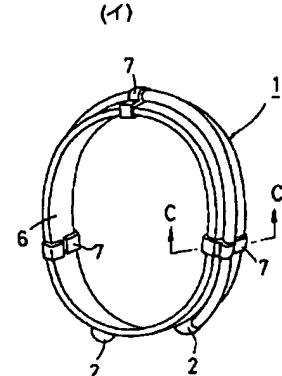
【図2】



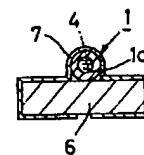
(ロ)



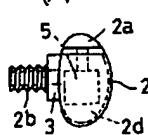
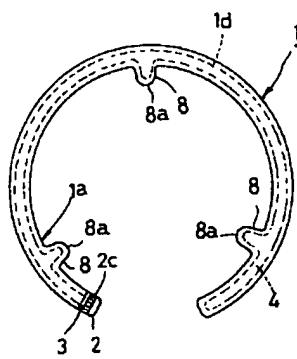
【図3】



(ロ)



【図4】



【図5】

